

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

## バクティ

### 1. バクティ（信愛、神への愛）とはどのようなものですか？

バクティの意味は、父として、母として、兄弟として、妻として、息子としての  
ような、何らかの手段によって、神に接近することにあります。

『青い山の夏の薔薇』 p223

バクティとは何でしょうか？ それは真我を絶えず熟考することです。

『ブリンダヴァンの慈雨』 p185

バクティとはプレーマ（愛）です。利己的欲望にまったく染まっていない、愛  
より流れだすもの、またはそのような愛が実を結んだもの、それがバクティで  
す。

『1008の宝石』 p46

今、外国人たちはシェッド（大勢の人が寝泊まりするための何もない大きな倉  
庫のような建物）で暮らしています。そこにはダンロップのベッドはありません。  
彼らは、ベッドもコーヒーも、チーズありませんが、環境に適応してい  
ます。この適応こそ、真の信愛です。

『真実の探究』 p179

バクティは外観ではありません。それは一切のものの中にある神性を尊ぶ心  
をもってなされる、日々の小さな行為の連続なのです。

『黄金の宇宙卵』 p59

あらゆる条件のもとで、すべての力の源であり、その実体であり総体である神  
に重きを置きなさい。…そうすれば、あなたはその源から、あなたが必要とす  
るすべての力を引き出すことができます。このように神に重きを置くことが、  
バクティと呼ばれています。

『サイラムニュース』 131号 p54

信愛と全託の道を通って神へと向かう巡礼の旅の9つの段階とは、

（1）神の御業の栄光と偉大さについて、そして神の顕れを示し、畏敬の念を  
起こさせるさまざまな話について聞きたいという強い願いを育むこと。これが

### サティア サイ ババ様の御教えキーワード

出発点です。神の話を繰り返し繰り返し傾聴することにより、私たちは自分自身を神へと変容させることができるのです。

(2) 神の壮麗さやさまざまな偉業を称えて歌うこと。

(3) 心の中で神を憶念し、神の美、栄光、慈悲の黙想にふけること。

(4) 神の御足、または足跡に敬意を持って集中することによって、神への礼拝を始めること。

(5) これは、神を完全になだめることと、規則正しい儀式的礼拝へと発展します。そこで求道者は内なる満足とインスピレーションを得ます。

(6) 求道者はどこを向いても、すべての生き物、すべてのものの中に、自分が好んで崇める神の愛しい御姿を見るようになり、すべての生命と自然に対する崇敬の態度を身につけます。

(7) 求道者は心をこの傾向に落ち着けて、優れているとか劣っているという感覚を持たずに、すべてのものに仕える献身的な召使いとなります。これは大変重要な段階であり、大きな霊的成功の前兆となります。

(8) これにより、求道者は極めて神に近づきます。したがって求道者は自分自身が神の仲間であり、神の力と哀れみ、神の勝利と偉業を分かち合うものであり、伴侶であり、友であり、親友であり、同志であると感じます。実際、アルジュナがそうであったように、神の友人と感じます。

(9) 察せられるように、これは神の意志に完全に委ねる、全託という最終段階へいたるための序曲であり、求道者は自らの浄められた直感的洞察により、これを知るのです。

Sathya Sai Speaks Vol.8 C4

サイ：マドゥラは甘美さを意味しています。これが最高のバクティです。

ヒスロップ博士：マドゥラが最高のバクティであるのはなぜですか？

サイ：このバクティにおいては、信愛者はすべてを神と見ます。ジャヤデーヴァは、衣を手にとって着ようとするたびに、衣の中にクリシュナを見たので、彼はどうしても衣を衣として扱いませんでした。彼は衣服を身につけずに通りを歩いたので、人々は彼に衣服をかけたのです。彼はクリシュナと話し、クリシュナに向かって歌い、クリシュナと踊り、クリシュナと一体化し、感覚を失って倒れたりしました。

『サティア サイババとの対話』 p190～191

最高の霊性修行とは、愛を奉仕に変えることです。それが真の信愛です。

『サイの宝』 p13

## サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

### 2. シュラッダ（揺るぎのない信念・信仰・熱意）とバクティの関係はどのようなものですか？

プレーマ（愛）を通して初めてシュラッダが生まれます。シュラッダを通して初めて、グニャーナ（英知）が生じます。グニャーナを通して初めて、あなたはパラ・バクティ（神に対する超越的な信愛）を得ることができます。

Prema Vahini p.29

バクティは受け皿、ヴァイラーギヤ（無執着）は灯油、グニャーナ（英知）はランプの芯です。そして、そのランプはシュラッダというマッチで火を灯すことができます。

『バジャン神への讃歌』 p301～302

バクティは、多くのウパニシャッドと聖典の精髓をかき混ぜた結果として得られるネクター（甘露）です。真の信愛は固い信仰によって支えられるもので、どんな境遇におかれても一定不変のものです。そうなったときのみ、人は本当のバクティの成果を得る値打ちを与えられます。

『ブリンダヴァンの慈雨』 p51

礼拝の初期の段階においては、礼拝する者と礼拝される者との間には、明白な区別があります。そのうち、霊性修行が進むにつれて、区別の感覚は薄れていきます。最終的に神との融合に至れば、両者の間には何の区別もなくなります。そこに到達するためには、人は、神に対する揺るぎない信仰をもっていなければなりません。信愛者が心に抱くべき願いは、唯一、今生の内に神を実現したいという願いのみです。

H2H サイの御言葉 2010年3月14日

Prema Vahini

神への信仰がある限り、信愛は定まっています。信愛が揺らぐと、心も同じように揺らぎます。真の信仰心はどんな状況のもとでも揺らぐことはありません。何が起ころうとも、あなたの信愛は揺らぐべきではありません。たとえあなたがバラバラに切断されようとも、です。

『サイラムニュース』 129号 p23

探求せずに盲目的に信じることも、立派な信愛です。というのは、それは完全な信頼から生じるからです。子どもは、母親に疑う余地のない信頼を置き、母

### サティア サイ ババ様の御教えキーワード

親のいうことは何であろうと信じます。これを愚かさとは呼ぶことはできません。

『1995年夏期講習 シュリーマド・バーガヴァタム』p48

### 3. なぜバクティは必要なのでしょう？

神の使命に携わるための神との親密さは、信愛の結果として初めて得られます。神への愛に満ちた信愛がなければ、地位や、富や、人格が備わっていても、それが一体何の役に立つのでしょうか？

H2H サイの御言葉 2010年4月23日

Prema Vahini

熱烈な神への信愛を実践しなさい。それこそが、永遠に変わる事のない本当の幸せを手に入れる鍵です。

H2H サイの御言葉 2010年1月24日

Prasanthi Vahini

神への信愛を通じて、謙虚さ、罪への恐れ、聖典への信仰が育ちます。これらの特質を通じて、心の狭さが取り除かれ人は広い心をもつようになります。

H2H サイの御言葉 2009年11月17日

Prasanthi Vahini

信愛という栄養によって愛と勇気、満足、そして喜びが増大します。

『サティア サイが語る子育て』p22

心を澄ませ清らかにし、信愛の真心で満たすならば、神の御姿を見ることができるのです。

『平安・瞑想・大成就』p147

世俗的教育は一時的なものです。真我の知識のみが永遠です。それは信愛と神への愛を通じてのみ得られます。

『真の教育—サティア サイ エデュケア講話集』p16

唯一至高の神への信仰と信愛（バクティ）なしに過ごした人生は、すべて卑しむべきです。神の原理の甘露を味わうことなく過ごした人生は、逃してしまったチャンスでしかありません。

## サティア サイ ババ様の御教えキーワード

『生きる道』第3版 p132

神の恩寵は山のごとき忍耐を培い、信愛の他には何も祈らない人に注がれます。  
『追憶』 p273

あなたは自分の富を自慢に思っているかもしれませんが、富はあなたに解脱を得る力を与えてはくれません。神は熱烈な愛をもつ信者だけに服従するのです。  
SSOJ ホームページ 1996年4月24日の御講話

あなたは、あらゆるものが神の栄光に見えて、神意識に満たされることがあるかもしれません。これらはすべて、あなたの信愛の果実です。あなたの信愛が成熟するにつれて、一切の差異が消えて、一体性が得られ、最高の段階に到達するでしょう。これはサーユージャ[融合]と呼ばれます。

H2H サイの御言葉 2010年4月29日

Prema Vahini

バーラタ（インドのサンスクリット語名）の国の平和と発展を担っている大きな要因は、バーラタ人の神への信愛にあります。

『2009年2010年講話集』 p95

人間とは何者でしょうか？ 人間は単なる肉体ですか？ いいえ、違います。純粹で、愛があり、信愛のある人だけが真の人間です。

『真の教育—サティア サイ エデュケア講話集』 p13

### 4. バクティを培い深めるにはどのようにすればよいのでしょうか？

3つのグナ（属性）のうちで最上のものはサットワ（清浄の属性、浄性）であり、それがバクティを促進します。

『青い山の夏の薔薇』 p2

神への信愛を養うために、つねに善い人々と交わるよう努め、ナーマスマラナに励みなさい。

『バジャン神への讃歌』 p284～285

神に対するあなたの信愛を表現する最良の方法は、感覚のコントロールを達成することです。

サティヤ サイ ババ様の御教えキーワード

『1008の宝石』 p139

信愛は定まった心に生じるものであり、揺れ動く、万華鏡のような心には生じません。

『プラサード』 第2版 p308

花がなければ、青く小さな実は生まれない。青く小さな実がなければ、熟した大きな果実も存在しない。同様に献身的な行動（カルマ）がなければ、信愛（バクティ）も起きず、信愛がなければ英知（グニャーナ）も生まれない。

SSOJ ホームページ 神に捧げる真の花

「私」と「私のもの」という感情が根絶された後に、はじめて人は信愛者（バクタ）となることができます。そのような信愛者のハートは、慈悲心と、世界に善を施したいという衝動に満ちています。

H2H サイの御言葉 2010年3月17日

Prema Vahini

真に神を信愛する者となるためには、至福を築くための基盤のみを探求すべきなのである。許されるかぎりの時を、ただただ神聖な目的のためにのみ用いなさい。他人が善かろうと悪かろうと構わないでよい。そのようなことに時間を浪費せず、あなたの中の悪を打ち捨て、善を発展させるために時間を役立てなさい。

『平安・瞑想・大成就』 p19

神を求める心から信愛の心が生じ、信愛の心からこの上ない歓喜が生まれます。

『平安・瞑想・大成就』 p166

神は1つであって、2つはありません。二元性を見るのは皆さんの思い込みによるものです。決してそのような思い込みが入り込む余地を与えてはいけません。思い込みのかけらがなくなった時、皆さんは真の信愛を手にするでしょう。

『サイラムニュース』 129号 p10

真のアナンニャバクティ（完全なる信愛）は、本当の自己とは何かを深く探求することから生まれます。

『1008の宝石 1』 p60